

校長室より⑩

3学期始業式より 1月7日(金)

積極的な Output

まちがい＝失敗 から学ぶ大切さ

『成功する人は“思い通りにいかないことが起こるのは当たり前だ”と分かって挑戦している』

発明家 トーマス・エジソン

成功を祝うのはいいが、もっと大切なのは失敗から学ぶことだ。失敗をどう生かすかで、どれだけ社員の発想や才能を引き出し、変化に対応していくことができるかがわかる。だからどの会社にも、ミスをしてそれを最大限活かした経験のある人が必要だ。
元マイクロソフトCEO ビル・ゲイツ



天龍中学校の3学期は1月7日（金）よりスタートしました。始業式では、蒔田晋時（まきたしんじ）さんの詩「教室はまちがうところだ」を紹介し、「失敗から学ぶことが大切であり、トラ（寅）イ&エラーのチャレンジをしていきましょう。」と話しました。

1年生は、中学生として1年間を終え、新入生を迎えられるように自覚していかなければなりません。

2年生は、3年生から引き継いだ天龍中学生徒会を背負っていく事になります。どんな天龍中学生徒会活動をしていきたいか6人で考えていきましょう。

そして3年生は、自分の生き方を決める進路選択や受験が迫っていますね。義務教育を終え、新しい世界へと社会に一步踏み出すための「初心」を持つことが求められます。強い気持ちをもってがんばりましょう。

ぜひ失敗を恐れず試練や苦勞に立ち向かっていきましょう。

性教育月間 校長講話より 1月24日(月)

「ladies and gentlemen …」 から
「all passengers …」 or
「everyone …」 へ
(日本航空)

どのような人たちにも、安心して使えるように
性の多様性に配慮

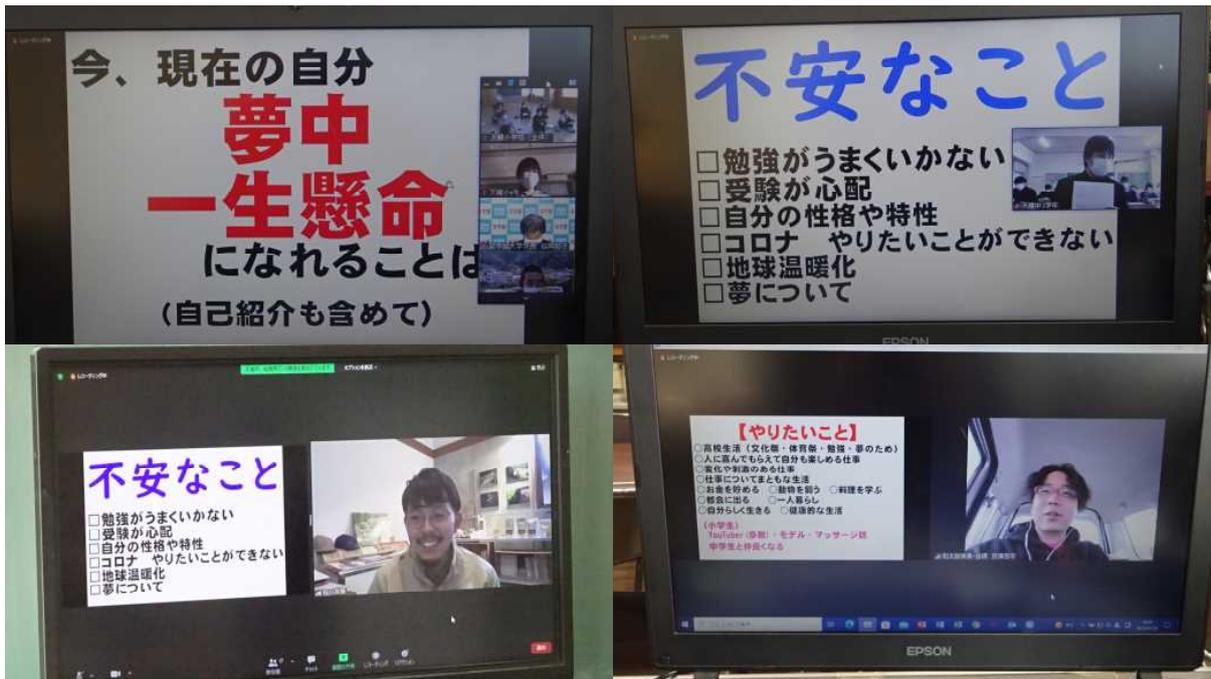
「性」(男・女・…)のとらえ

- ・ 法律上の性 … 性別、結婚 etc.
- ・ 身体の性 … 成長する身体 (生物学的) 命を生み出す身体
- ・ 心の性 … 性の多様性の問題
ダイバーシティ(多様性)
LGBTQ SOGI(自認・指向)
- ・ 表現する性 … 服装、〇〇らしさ
- ・ 好きになる性 … 性的指向

※セクシャルマイノリティ(性的少数者)

1月24日から2月22日まで性教育月間ということで、校長講話で性のとらえや多様性について話しました。オリンピックやパラリンピックでも話題になったセクシャルマイノリティやLGBTQについて理解を深めるために「多様な性って何だろう」(ReBit)の動画を視聴して考えました。生徒の感想には「自分の言葉で相手を傷つけないよう考え、相手を受け止める(受け入れる)」「相手を尊重する大切さを感じた。」などありました。各クラスでそれぞれの学年の課題で学習していきます。

キャリアシンポジウムより 1月28日(金)



「5年後 10年後 の自分は何をしているだろう」という投げかけから始まり、自分のキャリアデザインについて考えるシンポジウムを行いました。至学館大学学長の谷岡さん、保護者の宮下さん、天龍中の卒業生で京都で太鼓指導やイベント企画をしている宮澤さん、天龍村地域おこし協力隊の松川さん、天龍小中の児童生徒代表がパネラーとなり、「自分なりのやりがいや生きがいを持てる」ことを目的としました。

現在の自分が一生懸命になっていることや不安なことを語る中で谷岡さんは「不安や迷いがある事はとってもいいことである。そこから逃げないことが大事であり、不安を見つめ向き合うことで具体的な方法が見つかり、それが自信となっていく」というお話にすっきりした生徒もいたようです。

春よこい！



今年は昨年よりも寒く、梅の花の開花も遅れています。学校のまわりが雪で白くなることも昨年より多かった気がします。しかし、少しずつ春は近づいています。校長室に剪定した梅の枝を花瓶に挿しておいたら1月末に咲き始めました。梅林のつぼみはもう少し先のようです。